

市民経済委員会記録

1 日 時 令和元年9月17日(火)
午前 9時59分 開会
午前10時40分 閉会

2 場 所 第3委員会室

3 出席委員

委員長	藤田 誠一	副委員長	黒田 真徳
委員	片平 恵美	委員	合田 晋一郎
委員	伊藤 謙司	委員	仙波 憲一

4 欠席委員

なし

5 説明のため出席した者

・市長	石川 勝行		
・市民部			
部長	岡松 良二	総括次長(防災地域コミュニティ推進監)	原 正夫
防災安全課長	竹林 栄一	市民課長	酒井 千幸
防災安全課主幹	高橋 良徳		
・経済部			
部長	赤尾 禎司	総括次長(産業政策推進監)	亀井 利行
次長(農林水産課長)	山内 敏弘	次長(運輸観光課長)	宮崎 司
農地整備課長	川口 彰治	農林水産課主幹	山本 兼資
農地整備課主幹	藤田 康弘		

6 議会事務局職員出席者

議会事務局長	岡田 公央	議事課係長	和田 雄介
--------	-------	-------	-------

7 本日の会議に付した事件

別紙付託案件表のとおり

8 会議の概要

開会 午前 9時59分

●藤田誠一委員長：〈開会挨拶〉

○市長：〈挨拶〉

◎市民部関係

□議案第58号 製造請負契約の変更について

○竹林防災安全課長：〈説明〉

〈質 疑〉

●伊藤謙司委員：履行期間が延びて令和2年3月31日ということが、こういった展示物は、グラフィックとか、コンピューターで出力するものが多い。少し早めに前手で、一度チェックをすることが必要だと思うが、どうか。

○竹林防災安全課長：展示物等については、11月12日に電気が通り、通水が12月21日ということになっている。これに合わせ、展示物等を搬入することになっており、年が明けて、1月くらいに展示物の調整ができるかと思う。その後、映像の最終チェックなどをやっていきたい。

●伊藤謙司委員：1月にチェックして、起震装置などの大きい装置に不具合があったら、対応はできるのか。

○竹林防災安全課長：4月のオープンに向けて、丹青社と調整し、不具合がないような形で進めていきたい。

〈討 論〉

なし

〈採 決〉

全会一致 原案可決

□議案第64号 新居浜市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○酒井市民課長：〈説明〉

〈質 疑〉

なし

〈討 論〉

なし

〈採 決〉

全会一致 原案可決

□議案第71号 令和元年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

○原市民部総括次長（防災地域コミュニティ推進監）：〈説明〉

<質 疑>

●仙波委員：自主防災組織活性化事業費に、自治会等が防災用品を購入したものは入るのか。

○竹林防災安全課長：備品資機材が対象かどうかということであるが、具体的に言うと、防災倉庫や避難所に置くテレビというのは、今回の事業費の対象外となる。但し、避難訓練に使用する消火器や炊き出しに使うお釜、そういった備品については対象となる。

●仙波委員：防災用品における使用に対する法律等が変わった時には、どんな取り扱いをしているのか。例えば、チェーンソーとか、取り扱いが変わったものはどんな扱いをしているのか。

○竹林防災安全課長：法律が変わり、取り扱いが変わっているものは、個々の備品においてすべて十分把握できていないが、そういうものがわかったら適宜取り扱いについて、自治会、自主防災組織に連絡をとっていききたい。また防災訓練等の際にも、指導をしていきたい。

●仙波委員：なぜ、こんな話をしているかという、まず1つ目として具体的に取り扱いが変わったことを知らない人が多い。2つ目には、行政が補助金を出して、購入したものであるから、当然法律に基づいて、講習するなどの方法を考えないと、実際にそれで問題が起こった時にどうするのか。使用の講習を受けていないのでは、なかなか済まないと思う。なんとなく使っている人達はたくさんいる。中には、本来、教える立場の人が使い方を間違っていることもあるので、講習などをやっとならない。補助金なので、どこの自治会が購入しているのかは把握できる。最低、取り扱いが変わったことを通知するなど行政は考えないといけないと思うが、いかがか。

○竹林防災安全課長：仙波委員がおっしゃる通り、防災訓練や、地域での避難訓練の時にあわせての周知や、購入先のメーカーと連絡をとって、周知を徹底していきたい。

●伊藤謙司委員：防災行政無線整備事業費は、防災ラジオを自治会役員や、防災士に貸与するということだが、自治会役員が変わったら、次の自治会役員に引き渡すのか。

○竹林防災安全課長：基本的には、引き継いでいただくようにする。

●伊藤謙司委員：110台を貸与するとして、貸す前に使い方をきちんと説明をするのか。聞こえたかどうかのチェックはどうするのか。

○竹林防災安全課長：貸与に当たり、使い方の周知をしていきたい。電波が入りにくいところについては、個別にアンテナや同軸ケーブルなどがあるので、個別に相談をしていきたい。

*後刻一括採決

□請願第3号 マクロ経済スライド廃止、最低保障年金制度実現など若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める意見書の提出方について

<意見・討論>

●伊藤謙司委員：マクロ経済スライド廃止等は、今政府でも話をしている最中であるので、継続でお願いした

い。

●片平委員：継続ということで、この場で決めないということであるが、基礎年金のみの受給者720万人の平均受給額が5万円であるとか、年金受給者の40%近くが月額10万円未満というのは、人として生活するのにあまりにも厳しい状況だと思う。それがどんどん削られていく仕組みが、マクロ経済スライドであるので、こういうことはやめてほしいということを国に請願することは、とても大事なことだと思う。

<採 決>

賛成多数 継続審査

休憩 午前10時16分

再開 午前10時18分

◎経済部関係

□議案第71号 令和元年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

○亀井経済部総括次長（産業政策推進監）：<説明>

<質 疑>

●仙波委員：大島七福芋作付け拡大事業費については、これだけ補正額をつけると、どのくらい生産量がふえるのか。

○山内経済部次長（農林水産課長）：昨年度、七福芋の可能性調査を行い、平成30年現在で、作付け面積が1ヘクタールほどあるが、その委託業務の中で、1ヘクタール以外に約1.3ヘクタール栽培復元の可能性のあることがわかったので、今回3年ほどかけて、合計2.3ヘクタールの作付けを目指すものである。なお、白芋の数量については、1反当たり1トンということで、作付け拡大をして2.3ヘクタールになった時には、23トンくらいになる。

●仙波委員：イノシシによる被害は大丈夫なのか。

○山内経済部次長（農林水産課長）：大島にはイノシシが生息しているので、今回の作付け拡大事業の中で、鳥獣被害対策としてワイヤーメッシュの設置等も地域おこし協力隊の方でやっていただく計画である。

●伊藤謙司委員：新居浜太鼓祭り首都圏PR推進事業費であるが、正味、太鼓台1台にお渡しする金額はいくらになるのか。

○宮崎経済部次長（運輸観光課長）：今回の補正額1,500万円あまりを足して太鼓台派遣に係る全体の予算額は、3,447万9,000円になるが、太鼓台1台当たりの派遣費用の支援額については、約1,000万円になる。

●伊藤謙司委員：昨年も同じような額であったのか。

○宮崎経済部次長（運輸観光課長）：昨年については、800万円弱くらいの支出金額で、今年の増額部分に関しては、演技日数が昨年2日であったものが、今年は、前日の報道関係の披露も含めて、木、金、土、日、月の5日間という日程となる。宿泊等がふえたというようなことで、その部分を増額した。

●伊藤謙司委員：5日間ということだが、人は集まるのか。

○宮崎経済部次長（運輸観光課長）：補正をする前提として、市内の各運営委員会単位で、昨年の実績に基づいて、市として考え得るスケジュールを示した上で、派遣意思を確認したところ、想定以上の太鼓台から手が挙がったという状況であり、基本的にはこちらの前提としている条件を理解した上で手を挙げていただいたと理解している。

●仙波委員：市単独土地改良事業で、積み残しはいくらあって、今回の補正でいくらくらい処理できるのか。

○川口農地整備課長：今年は、市内22土地改良区、138件、約4億円程度の要望があり、その内、約50件、8,000万円を予定している。補正により、農道改良1件、農道改良設計委託行為1件、水路改修を1件予定しており、積み残しについては、市単独土地改良事業は営農優先となるので、工事期間が11月から3月に限られること、工事に伴う地元調整や調査、並びに設計積算に時間を要することから、対応可能な事業量には制約があり、要望箇所における老朽化や劣化の状況を踏まえて、土地改良区と協議を行い、優先順位をつけて実施しているところである。早期に対応できるように、予算確保や技術職員の配置を要望していきたい。今年度の要望の残りは、約90件の見込みである。

●仙波委員：できることなら50%くらいなら、処理してほしいと思うが、予算的にはどうか。

○川口農地整備課長：改良区からの市単独土地改良事業の要望については、路線単位で出てくるので、実際、全部やるとすると、要望の残りで、3億後半くらいの金額が必要である。営農のことを考えての工事となるので、必ずしもすべての延長ができるわけではない。そうすると、今年度どうしても必要なところについては、補正後の予算でなんとか対応している状況である。その残りについては、確かに予算がふえるとできるところもあるが、地元調整、設計積算まで準備が必要になるため、今年度に関しては、50件を予定している。

●仙波委員：路線単位ということと言われることはわかるが、その間に、途中壊れるのもあったりするので、結果的には、確かに営農優先はいいが、営農優先でなくても、ほっとくとひどくなることも多くたくさんあるし、最近だと水漏れもたくさんあり、一般の人からは、農業用排水の水路の危険防止等、予定外の要望もある。全国的にも、用水路、排水路の安全性については問われている。その辺に対して、関係部局との調整は前を向いて進んでいるのか。

○川口農地整備課長：補修、整備を待っている間に、傷んでくるところもある。そのほか、危険防止などの安全対応も必要である。それについては、市単独土地改良事業としては、路線の中でも悪いところの優先順位をつけて対応していく。また安全の部分については、農道維持管理事業などを活用して、一般通行あるいは、排水や雨水の対策で緊急性のあるものについて、対応しているところである。他部局との調整については、水路に関しては、例えば公共下水道事業との関係がある。直近で工事が予定されているところについては、補正で要望したとおり緊急で対応する場合もあり、関係部局と連携しながら、対応を進めている。

●合田委員：旧別子観光センター跡地整備事業については、来年度に設計するとのことで、設計に当たっては、地元の意向、要望が出てくると思う。運営は地元主体に考えているのか。

○宮崎経済部次長（運輸観光課長）：旧別子観光センター跡地整備に当たり、市としての管理運営方法を地方

自治法に基づく指定管理者という形を考えている。指定管理の公募先としては、別子山企業組合を候補先の一つとして考えている。これまでの地元との協議の中でも、基本的には、別子山企業組合が中心的に担っていたかのようなことで指定管理の候補先として考えている。設計等に関しても地元と協議をしながら進めていきたいと考えている。

<討 論>

なし

<採 決>

全会一致原案可決

閉会 午前10時40分

市民経済委員会付託案件表

令和元年9月17日

○市民部関係

議案第58号 製造請負契約の変更について

議案第64号 新居浜市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第71号 令和元年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

第1表 歳入歳出予算補正中

歳出 第2款 総務費

第1項 総務管理費

ページ

14目 防災諸費 4・28

請願第3号 マクロ経済スライド廃止、最低保障年金制度実現など若い人も高齢者も

安心できる年金制度を求める意見書の提出方について

○経済部関係

議案第71号 令和元年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

第1表 歳入歳出予算補正中

歳出 第6款 農林水産業費 4・32・33

第7款 商工費 4・34

第2表 継続費補正 追加 5